



日本財団
海と日本PROJECT
スポGOMI甲子園 決勝大会

運営マニュアル

スポGOMI甲子園実行委員会

2020/11/19 (最終稿)

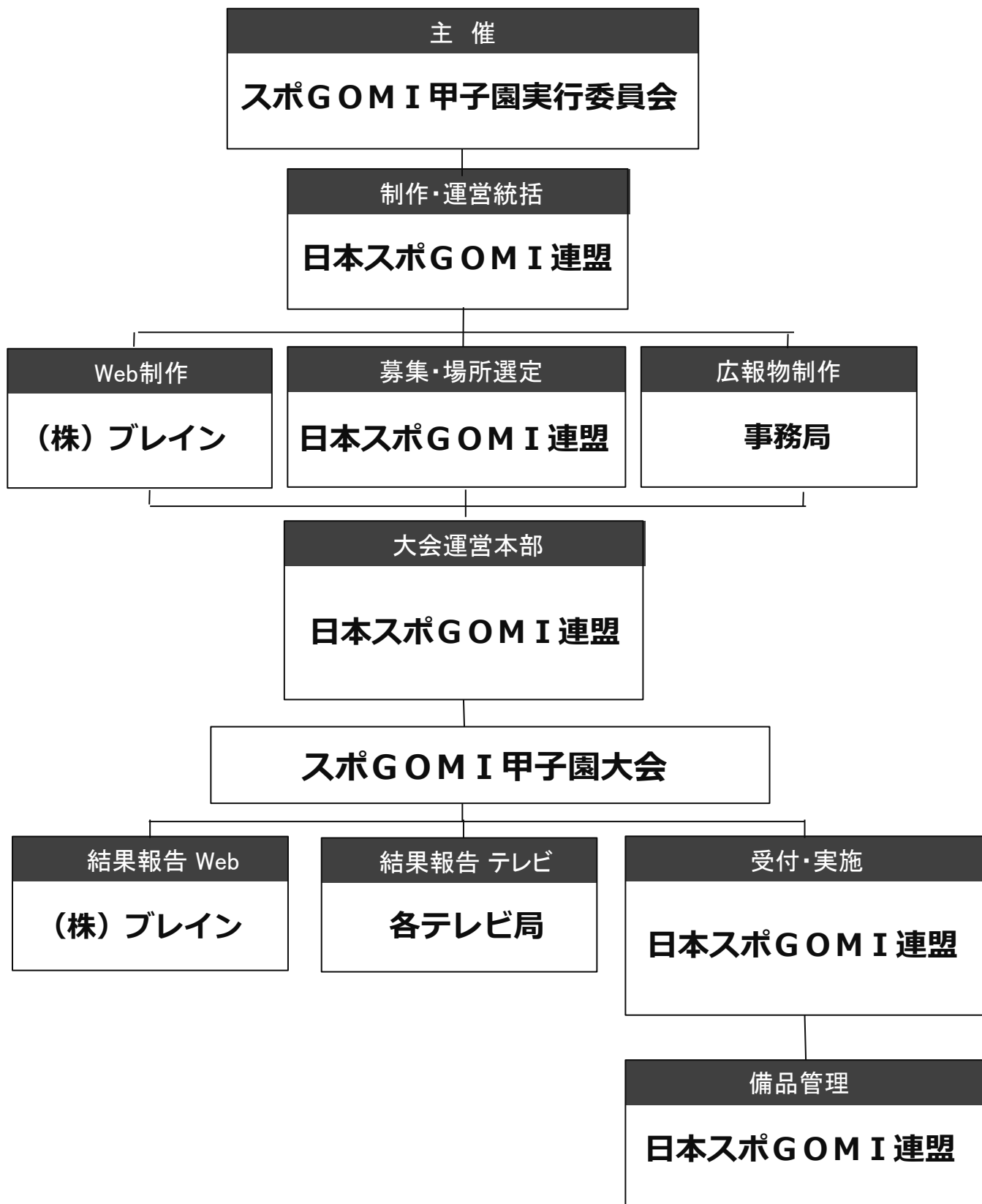
日本財団 海と日本PROJECT スポGOMI甲子園 決勝大会

- 開催日：2020年11月22日（日）
- 場 所：墨田区役所リバーサイドホール
- 主催：海と日本PROJECT スポGOMI甲子園実行委員会
- 共催：日本財団 海と日本PROJECT
- 協力：海と日本PROJECT／ポカリスエット／日本スポGOMI連盟
- 全ての開催地：北海道、青森、秋田、山形、新潟、石川、長野、島根、埼玉、神奈川、静岡、滋賀、岐阜、三重、兵庫、愛媛、高知、岡山、山口、福岡、佐賀、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
- 時期：県予選 2020年9月中旬～11月上旬まで
決勝戦 2020年11月22日（日）@墨田区役所リバーサイドホール
- 内容：全国25都道府県の高校生を対象として、ごみ拾いにスポーツ的なルールを盛り込んだ「スポGOMI甲子園」を開催。各都道府県共に10～15校を募集し、各高校3人一組でチームを組み、制限時間の60分で予め定められたエリア内のごみを拾いその質と量をポイントで競い合う。各都道府県大会の優勝チームは、11月22日（日）に開催の決勝戦へ招待。

<タイムスケジュール>

- ・ 8:30 参加者受付開始
- ・ 9:00 開会式
CHANGE FOR THE BLUE について（日本財団様挨拶）
墨田区長ご挨拶（ご依頼）
選手宣誓
ルール説明（スポGOMI甲子園実行委員会）
作戦会議3分
- ・ 9:20 スタート発声 [CHANGE FOR THE BLUE!] ※全員で発声
※競技時間 60分
- ・ 10:20 競技終了／集計
- ・ 10:40 オリジナルアイテムの紹介
- ・ 11:00 結果発表
表彰式／大会総括
全体撮影 ※海プロ横断幕
- ・ 11:30 終了

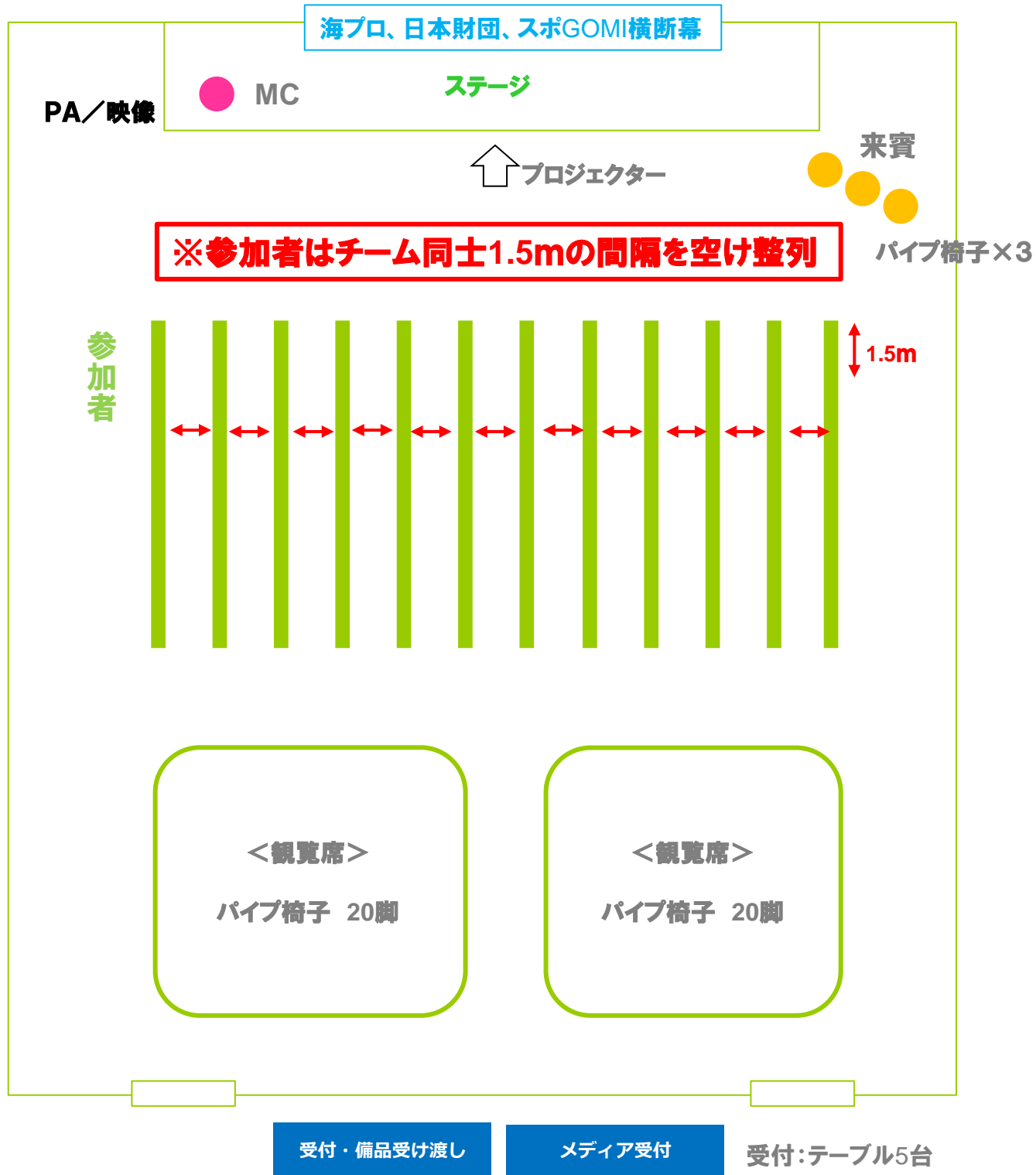




海と日本PROJECT スポGOMI甲子園 決勝大会

- 開閉会式場所：墨田区役所すみだリバーサイドホール
(東京都墨田区吾妻橋1-23-20)





※受付にて検温、手の消毒を行います。

※前日21日(土) 17:00～19:00 会場設営

22日大会当日

担当者	受付～開会式	競技中	アイテム紹介	表彰式～終了
マミツカ		アイテム紹介準備	アイテム紹介	撤収
重原	受付準備→受付サポート	計量準備→計量	集計→表彰式準備	撤収
名古屋	受付準備→受付サポート	計量準備→リモート先対応、撤収	集計→表彰式準備	撤収
竹平、百瀬	映像	映像	映像	映像撤収
藤平	受付サポート	計量サポート→リモート先対応	集計、表彰式準備サポート	撤収
服部	メディア受付	アイテム紹介準備		撤収
緒方ファミリー	ホール内誘導		ホール内誘導	撤収
田中	映像	映像	映像	映像撤収
ココイルチーム	ダウンロードサポート			
ボランティア① 3名	受付準備→受付	計量準備→サポート、撤収	計量読み上げ→表彰式	
ボランティア② 2名	映像サポート	映像サポート	映像サポート	映像撤収
ボランティア② 2名	音響サポート	音響サポート	音響サポート	音響撤収

○計量時

- ・帰ってきたチーム順に計量機の前に並ばせる（1.5mの間隔を空ける）
- ・計量の際は分別が出来ていないと計量できないため、分別完了しているか各チームに確認
- ・計量はチームごとに順番に行う。計量補助スタッフは、集計担当の連盟スタッフと連携し分別の種類ごとに計量を行いスムーズな計量を心がける。
- ・計量終了後のゴミは、あらかじめ指定したゴミ置き場に集める（墨田区連携）

○集計

- ・すべてのチームの計量が終了したら、連盟スタッフは速やかに集計を行い順位を確定
- ・MCへ順位を伝えるとともに、準備してある賞状（優勝のみ）にチーム名を記入

○アイテム紹介

- ・予選大会でユニークだったアイテムをスライドで紹介
- ・参加チームを数チーム呼び込み、アイテムの説明をしてもらう（MCとからみ）

○閉会式

- ・全チーム順位、賞状などの準備が完了しだい、MCによる進行のもと閉会式実施
※進行については進行台本に沿って実施
- ・表彰式終了後、全チームの集合写真を撮影
※海プロのぼり、横断幕と一緒に撮影

○閉会式終了・解散

- ・ごみの回収（墨田区連携）



競技エリアはピンク線で囲ってある地域一帯となります。

60分間の競技時間中であればエリア内のどの方向に進んで行っても大丈夫です。



※隅田川は渡らないでください。河川敷には立ち入らないでください。

- ※一般の方に十分注意する
- ※川に入らない
- ※危険な場所には立ち入らない
- ※私有地には立ち入らない

競技時間は必ず守って下さい。

ルール 以下の分別方法・得点換算に従い行います。

※100g以下の量でも、ptはつきます。

燃える

紙類、布類、雑誌類、弁当・食品容器包装ごみ
コンビニ袋など

100g → 10pt

※草、落ち葉、枝、家の廃材等は、燃えるゴミとして含まれません。

燃えない

ビニール傘、ガラス類、鍋、フライパン、せともの類、
電池、ライター、鏡、金属類など

100g → 5pt

※小型電化製品(ドライヤー、髭剃りシェーバー)位の大きさのモノはOKです。
それ以上のモノは粗大ごみ扱い。ブロック、レンガなどは含まれません。

ビン、缶(ドリンク系など缶全て)

中身は捨てる。

100g → 20pt

ペットボトル

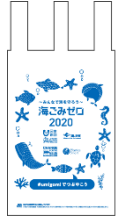
中身は捨てる。

100g → 40pt

たばこの吸い殻

100g → 50pt

分別ごとにゴミ袋は分けてください



オリジナル
アイテムポイント

オリジナルアイテム持参で50ポイント!

一律
50ポイント

+

斬新さ、機能性、デザイン性を審査!
優秀チームには最優秀アイテム賞!

最優秀アイテム賞
50ポイント

【粗大ごみは、絶対に持ち帰らないでください!】

(過去大会であった例)

バッテリー、DVDプレイヤー、扇風機、布団、座布団、ダンボールの束、
消火器、コンクリートブロック、金庫、金属棒、タイヤ、自転車の車輪
マンホール、三角コーン、コンロ、パソコン、ベビーカー、炊飯器

※指定ごみ袋に入らない長さ50cm以上の燃やすごみ、燃えないごみなど)

★粗大ごみ以外の燃えるごみ・燃えないごみの種類で
ビニール傘より長いモノ・ごみ袋に入らない大きいごみも粗大ゴミ扱いとします。

競技上の主な注意点

参加者は、競技するにあたって自分自身や、

チームメンバー安全に注意を払うこと

(以下、注意点)

- ・川、河川敷には入らない。
- ・止まっている車で、運転手がいる場合は車の前後でのごみ拾いはしない。
- ・車道に身を乗り出してのごみ拾いはしない(発見次第失格)。
- ・交通ルールを守る。
- ・細い道は特に車に注意する。
- ・競技時間・エリアを守る。
- ・走らない。
- ・チームは、まとまって行動する。※先頭と最後尾が10メートル以内
- ・ごみの分別区分を守る。
- ・私有地に入らない。
- ・注射針や川の漂着ごみの液体など危険なものには触れない。
- ・道路などの側溝・ドブ板を持ちあげて、中のごみを拾わない。
- ・スタッフの注意を聞く。
 - 注意を聞かない場合、競技を中止させる場合もあります。
- ・競技中、ケガや事故など発生した場合は、速やかにスタッフの指示を仰ぐ。
- ・粗大ごみは拾わない。
 - 電化製品・バッテリー・タイヤ・自転車・布団・ダンベル等の鉄の固まり
大量の段ボールなど、ごみ袋に入らないものは粗大ごみとみなす。
※判断できない時は、スタッフに確認して下さい

以下のルール違反になるような行為が行われ、何度注意しても守らない場合は減点・失格となります。

種類	内容	減点ポイント
規則に反する行為	支給された用具以外の物を使用する行為	100
	走る行為	
	プレーヤー同士が離れすぎ（先頭と最後尾が10m以内）	
	粗大ごみを拾う行為	
	分別方法を無視する行為	
	故意に重量を増す行為	
競技終了に関すること	競技終了時間を守らない行為	100
	集合しても、本部に報告をしない行為	
	メンバー全員揃って競技終了しない行為	
スポーツマンシップに反する行為	スタッフに逆らうなど、目に余る危険な行為	失格

海と日本プロジェクトでは、海洋環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、海のすばらしさを未来にへ引き継ぐアクションの輪を広げていくことを目指しています。大会の様子は、公式サイトやSNSを通じて発信されていきます。

→参加者の皆さんの写真が、各種メディアに掲載されることがあることをご了承ください

※不都合などある方は事前に申し出てください。

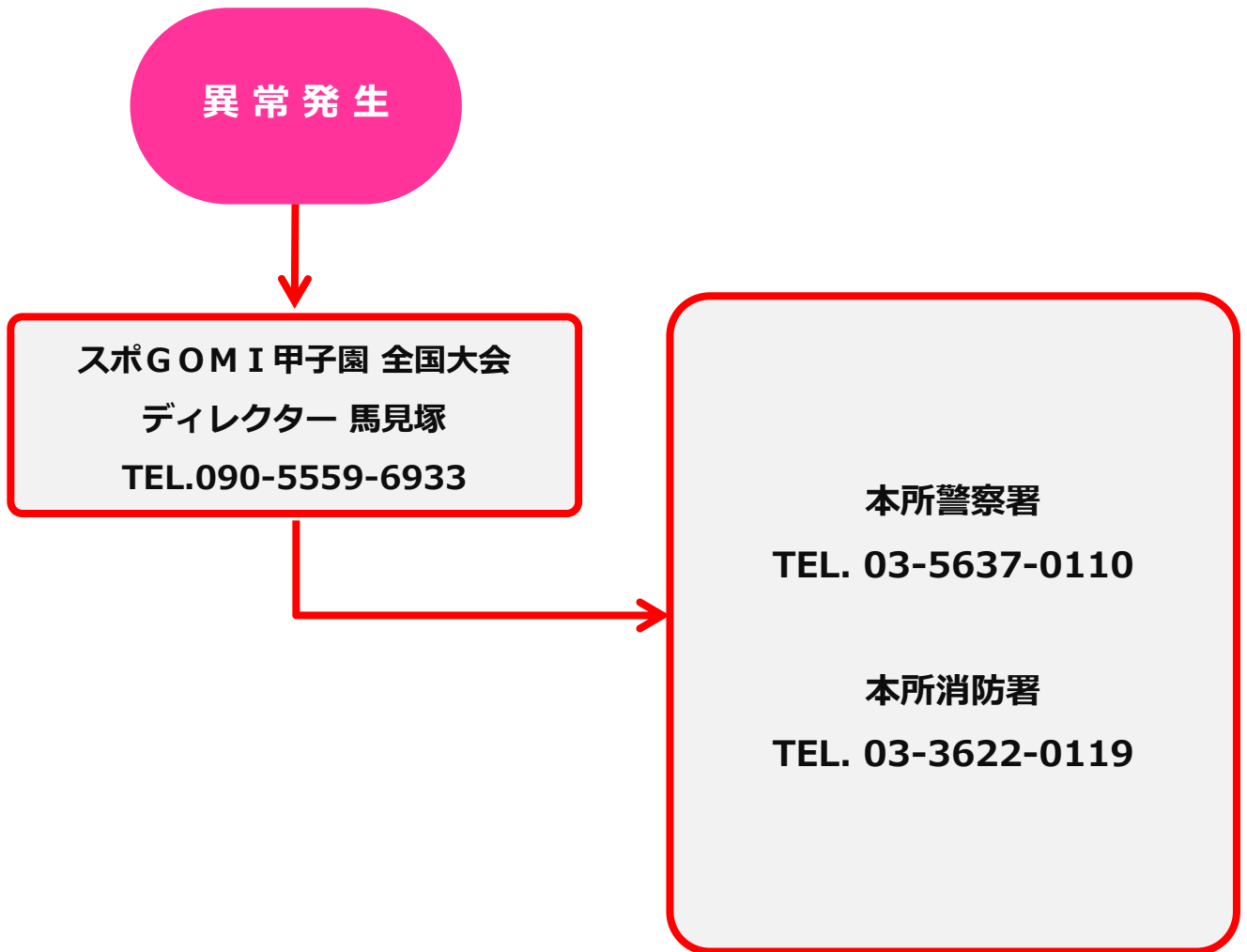
大会中の様子は、参加者の皆さんがご自身のSNSなどを通じて発信していただくことは推奨しています。

→可能な限り、

#海と日本 #umigomi #日本財団 #スポGOMI甲子園
のハッシュタグをつけていただけるようにお願いします。

皆さんで

「海と日本プロジェクトスポGOMI甲子園」
を一緒に盛り上げていきましょう！



**異常時は、スポGOMI甲子園ディレクターより
関係各所に速やかに連絡をする。**

《開催前》

- ・大会前日午後5時、または当日の午前7時の時点で中止の判断をする。
※よほどの大雨でない限り開催する。競技時間を40分にするなどテレビ局と協議。
※当日の中止の目安: 1時間の降水量が10mm以上または注意報が出た場合。
- ・中止になる場合は手分けしてすみやかに開催地メディア、参加高校引率担当者、関係各所に連絡をする。
- ・なお、雨天中止時の振替開催を行う際はその旨も合わせて連絡すること。



《開催中》

- ・突然の雷雨、大雨注意報、雷警報が出た場合その時点で中止の判断を行う。
- ・避難が必要な場合は責任者の指示に従い決められた避難場所等に避難、誘導する。
※参加者たちを優先的に避難させる。
- ・勝敗結果は中止前までに集めたゴミのポイントで決める。
- ・中止が確定し、参加者たちが帰ったら安全を確認し撤収作業。



スポGOMI開催時の感染症対策ガイドライン

■ 開催の判断

国や自治体の出すイベント実施基準に準ずる。

■ 開催時のガイドライン

- ・ 参加者に上限を設ける（主催者と相談）
 - ・ 受付に消毒液を設置。
 - ・ 参加者及びスタッフの検温（37.5度以上は参加辞退）
 - ・ 受付時はリーダーのみ、他の人との間隔を1.5m以上あけて並ばせる。
 - ・ 軍手は全員配布し必ず着用。マスクは参加者持参。
主催者側が用意できない場合、事務局で予備を準備し、マスク着用忘れの参加者へ提供する。
 - ・ 開閉会式での整列はそれぞれが1.5m以上の間隔を保つ。
 - ・ 競技中は出来るだけマスクをする。
- ※熱中症の恐れのある場合は常時マスク着用のルールは適用しない。
- ・ 終了時軍手は全て回収し処分する。
 - ・ 閉会式後はすみやかに解散させる。
- ※参加者上限数に関しては新型コロナウイルスが順調に収束した場合は段階的に解除する方向で考える。

■ 受付時の留意事項

- ・ 受付時に参加者の検温を実施し、受付・備品配布テーブルに移動してもらう
- ・ 受付テーブルにはアルコール消毒ボトルを設置する。
- ・ 受付担当・検温担当はマスクもしくはフェイスシールド及びニトリルグローブを着用する。
- ・ 場合によりビニールカーテンを受付テーブルに設置。
- ・ 受付後は各チームでソーシャルディスタンスを確保して並んでもらう。

■ 体調不良・ケガへの対応

- ・ 状況に応じて現場判断し参加者を本部テントまで戻す。
- ・ 応急手当・介抱を実施する場合は、血液や体液に直接触れないようニトリルグローブの着用を徹底する。



備品リスト

内容	数量	スポGOMI連	墨田区様	備考
運営マニュアル		○		
ルールブック		○		
進行台本		○		
軍手		○		
ゴミ袋		○		
トング		○		
ゼッケン		○		
計量器		○		
ノートPC		○		
MC		○		
賞状		○		
賞品		○		
ドリンク		○		
筆記用具		○		
チーム名用紙		○		
テーブル、イス			○	
PA			○	
海プロのぼり・横断幕		○		
ごみの最終撤去			○	
受付リスト		○		
参加賞		○		ポカリスエット
消毒液		○		
体温計		○		
プロジェクター			○	
のぼり	10		○	